

# 「とっとり子育て親育ちプログラム」



## ファシリテータ通信

平成31年3月26日 第3号

発行：鳥取県教育委員会事務局

小中学校課

学校・家庭・地域連携推進担当

TEL/0857-26-7521

FAX/0857-26-8170

https://www.pref.tottori.lg.jp/katei/

「とっとり子育て親育ちプログラム」のファシリテータ派遣事業は、子育ての悩みや課題を題材に、ワークショップや話し合いなどの楽しい時間を共有することで、親同士のつながりを深め、家庭教育について考えるきっかけづくりや学び合う仲間作りを進めることを目的としています。この度、2月17日に香川大学教授、生涯学習教育研究センター長の清國 祐二先生を講師にお迎えし、ワークショップ、講義・演習を行っていただきました。

1・2・3期のファシリテータ同士の交流の中で、活動の実践についての情報共有や今後の取組の充実を図っていただく機会としました。また、市町村教育委員会からの参加もありました。

今回のフォローアップ研修の振り返りをまとめてみましたので、今後の活動に生かしてください。

### ☆行政説明

#### 「鳥取県の家庭教育とファシリテータの活動状況について」

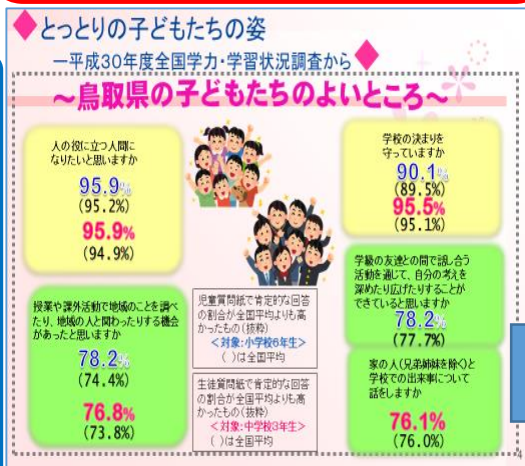
次の5つの柱で話をしました。

- ◇ととりの子どもたちの姿
- ◇家庭教育とは
- ◇家庭をめぐる背景・現状
- ◇鳥取県の家庭教育支援の取組
- ◇ファシリテータの活動状況等について



親の育ちを  
応援していこう！

ととりの子どもたちの姿



確認をお願いします！！

ファシリテータとして、参加型学習のまとめをされる際に意識していただきたい事項です！！

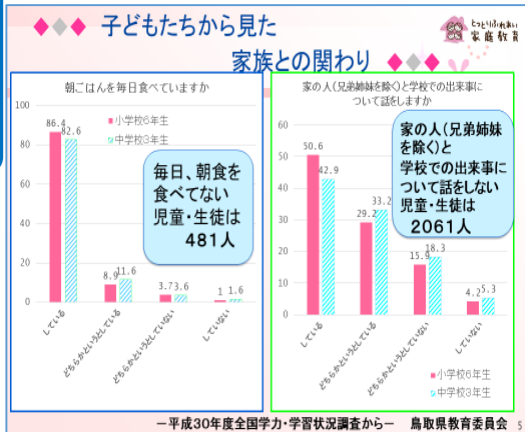
たくましく・夢をもって・自立できる子  
『家庭は心のねっこになる』

#### 「めざす親の姿」

- ★家庭教育において、親としての責任を自覚し、学ぶ姿勢を持ち続け、ライフステージに合わせた子どもへの適切な接し方や言葉かけができる。
- ★規則正しい生活習慣をつくることできる。
- ★家族全体で規範意識を高め、社会の一員として自覚し、地域貢献ができる。

#### 「めざす子どもの姿」

- ★自尊感情が育ち、人を思いやる心をもつ子
- ★思いを言葉で伝え合い、人と関わる力を身につける子
- ★基本的な生活習慣が定着し、生活向上や学習に集中し、夢に向かって自立する子
- ★物事の善悪を考えながら生活することができる子
- ★地域に誇りと愛着を持てる子



## ☆ワールドカフェ（参加者同士で交流しながら情報交換）

### 「とっとり子育て親育ちプログラム」

～ワークショップの原点に還って～

#### ・・・ワークショップのまとめ方・・・

日常生活にどう生かせるかが大事、  
一方で「今日だけでもいいよ。また、参加すればいいよ。」  
という寛容さも必要。



#### ○流れ・その場を尊重する

##### ポイント①承認する

（頑張りをほめる・ワークショップの成果を認める・出された意見を共有する）

ポイント②意識の高まり・高揚感で現実とのギャップに悩まないように、クールダウンも必要

（消化する・落ち着くための時間を設ける）

#### ○伝える・確認すべきことがある

##### ① 準備段階で、まとめ方を考えておこう！！

こんな言葉を使ってみませんか。  
こんな絵本を読んでみませんか？  
こんな料理を作ってみませんか？  
こんないい笑顔になってみませんか？



② 信頼関係をつくるために、依頼者の意図を汲み取り、ワークの主旨を再確認して閉じる  
→継続的な学習になる。

③ 学びの広がり・・・学んでよかったこと、気づいたことを共有しよう。

→出席しなかった人にも伝えてもらえる工夫をしていこう。

#### ☆講義・演習

##### 「コミュニケーションを考える」

良好なコミュニケーションは相互性で成り立つことや  
ネガティブな言葉を避ける心がけ、理解・協働するためには  
目標イメージの共有だけでなく、具体的な手立てを共有して  
いくことが大切であること、そのための議論・質問の技術についても  
御教授いただきました。質問も多数出て、会場が一体となり、対話的な講義・演習となりました。



#### 参加者の方の感想

自分自身のファシリテーションを振り返って自信になった部分と他の方の方の方法を知り参考になった。相手に合わせて、相手に理解できるように伝えることの大切さを再確認できた。行政や学校との連携等に役立てたい。

清國先生のお話しは毎回新たな気づきがあり、また、参加者のパワーがあふれていて自分自身元気をもらった。

講義で教えていただいたことをPTAの行事等で活用していきたいと思った。



解決策は出ませんが、問題点の共有と我々の努力目標の設定ができたと思う。永遠の課題だけど、努力する気持ちを失わないようにしたい。

「豊かな家庭」を地域に増やすために、地域のおばちゃんの一人として何ができるのかじっくり考えてみたいと思った。

今まで活動した事がないのですが、頑張ってみようかなと思います。

情報交換できたこと、次の活動意欲につながった。リフレッシュできた。



大変ご無沙汰しております。この度の人事異動で、2年間お世話になった小中学校課を離れ、4月から教育環境課で働くことになりました。ファシリテータの皆様には、2年間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。派遣事業や研修会をとおして、皆様と一緒に家庭教育支援について考え、学んだ経験は、本当に貴重な財産です。今後、直接一緒にお仕事できる機会はなくなるかもしれませんが、皆様のご活躍には高くアンテナをはり、私も新天地で頑張りたいと思います。本当に、ありがとうございました！

徳永

